

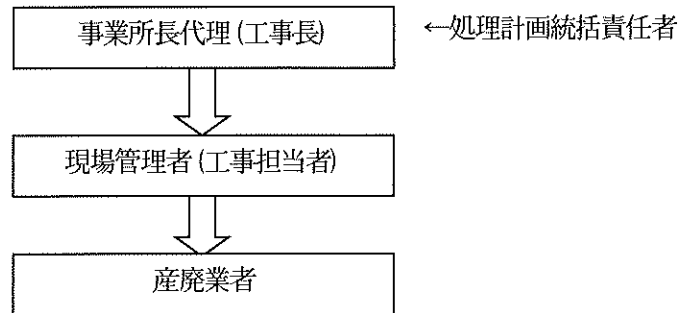
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年 6 月 3 日	
札幌市長 様	
提出者	
住 所	札幌市中央区大通西4丁目6-8 住友成泉札幌大通ビル9階
氏 名	住友不動産ハウジング株式会社 注文住宅事業本部
北海道事業所	
事業所長 黒元 卓	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	050-3112-0260
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友不動産ハウジング株式会社 注文住宅事業本部 北海道事業所
事業場の所在地	札幌市中央区大通西4丁目6-8 住友成泉札幌大通ビル9階
計画期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	1,949,000千円
③ 従業員数	35人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	全ての産業廃棄物を業者に委託 廃棄物発生→収集運搬業者→産業廃棄物処理→最終処分処理場 一部、原料として再資源化



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (2024年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排出量	116.585 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排出量	100.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	木くず・作業工程で生じる廃木製パレットを再度パレットとして使用のできる部材を選別している。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	廃プラスチックの種類ごとの分別に努め、現材料として再利用できるものを分別する。	

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	建設工事の紙くず
	排出量	0.000 t	32.190 t
	（これまでに実施した取組） 現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
④ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	建設工事の紙くず
	排出量	0.000 t	30.000 t
	（今後実施する予定の取組） 産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑤ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ダンボール	建設工事の木くず
	排出量	33.330 t	538.560 t
	（これまでに実施した取組） 現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
⑥ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダンボール	建設工事の木くず
	排出量	30.000 t	400.000 t
	（今後実施する予定の取組） 産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑦ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設工事の繊維くず
	排出量	0.000 t	0.960 t
	（これまでに実施した取組）		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
⑧ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設工事の繊維くず
	排出量	0.000 t	0.300 t
	（今後実施する予定の取組）		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑨ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	鉄くず
	排出量	10.848 t	90.400 t
	（これまでに実施した取組）		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
⑩ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	鉄くず
	排出量	10.000 t	50.000 t
	（今後実施する予定の取組）		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑪ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器類	ガラスくず
	排出量	39.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
⑫ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器類	ガラスくず
	排出量	30.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑬ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ブラウン管	グラスウール
	排出量	0.000 t	9.420 t
	(これまでに実施した取組)		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
⑭ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ブラウン管	グラスウール
	排出量	0.000 t	8.000 t
	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑮ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	コンクリートくず
	排出量	46.200 t	31.650 t
	（これまでに実施した取組）		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
⑯ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	コンクリートくず
	排出量	40.000 t	30.000 t
	（今後実施する予定の取組）		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑰ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	ALC
	排出量	57.060 t	0.000 t
	（これまでに実施した取組）		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
⑱ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	ALC
	排出量	50.000 t	0.000 t
	（今後実施する予定の取組）		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
⑬ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
	排出量	11. 396 t	199. 208 t
	（これまでに実施した取組）		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
⑭ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
	排出量	10. 000 t	100. 000 t
	（今後実施する予定の取組）		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
21 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶器類 石綿	廃プラスチック 石綿
	排出量	23. 000 t	1. 750 t
	（これまでに実施した取組）		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
22 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶器類 石綿	廃プラスチック 石綿
	排出量	20. 000 t	1. 000 t
	（今後実施する予定の取組）		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
23 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	伐採材・伐根材
	排出量	16.280 t	0.000 t
	（これまでに実施した取組）		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
24 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	伐採材・伐根材
	排出量	10.000 t	0.000 t
	（今後実施する予定の取組）		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携をとり資源の再利用化に努めます。		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
25 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排出量	8.476 t	0.000 t
	（これまでに実施した取組）		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
26 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排出量	8.000 t	0.000 t
	（今後実施する予定の取組）		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携をとり資源の再利用化に努めます。		

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
27 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	がれき類 石綿
	排出量	0.000 t	39.960 t
	(これまでに実施した取組)		
	現場の解体方法の工夫、作業工程の見直しを行い、産業廃棄物の分別をしやすい工程を実施。		
28 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	がれき類 石綿
	排出量	0.000 t	30.000 t
	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物の分別を一層良く行い処理委託業者とも連携を取り資源の再利用化に努めます。		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
29 現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
30 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全 処 理 委 託 量	116.585 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全 処 理 委 託 量	100.000 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
③ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	建設工事の紙くず
	全 処 理 委 託 量	0.000 t	32.190 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

④ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	建設工事の紙くず
	全 処 理 委 託 量	0. 000 t	30. 000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
⑤ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ダンボール	建設工事の木くず
	全 処 理 委 託 量	33. 330 t	538. 560 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

⑥ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダンボール	建設工事の木くず
	全 処 理 委 託 量	30.000 t	400.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
⑦ 現状	【前年度 (2024年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設工事の繊維くず
	全 処 理 委 託 量	0.000 t	0.960 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

⑧ 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設工事の繊維くず			
	全 処 理 委 託 量	0. 000 t	0. 300 t			
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	(今後実施する予定の取組)					
※事務処理欄						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
⑨ 現状	【前年度（2024年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	金属くず	鉄くず			
	全 処 理 委 託 量	10. 848 t	90. 400 t			
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	(これまでに実施した取組)					

(第5面)

⑩ 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	鉄くず		
	全 処 理 委 託 量	10,000 t	50,000 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
⑪ 現状	【前年度（2024年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器類	ガラスくず		
	全 処 理 委 託 量	39,000 t	0,000 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	(これまでに実施した取組)				

(第5面)

⑫ 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器類	ガラスくず		
	全 処 理 委 託 量	30.000 t	0.000 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
⑬ 現状	【前年度（2024年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃ブラウン管	ガラスウール		
	全 処 理 委 託 量	0.000 t	9.420 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	(これまでに実施した取組)				

⑭ 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃ブラウン管	グラスウール			
	全 処 理 委 託 量	0.000 t	8.000 t			
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	(今後実施する予定の取組)					
※事務処理欄						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
⑮ 現状	【前年度（2024年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	コンクリートくず			
	全 処 理 委 託 量	46.200 t	31.650 t			
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t			
	(これまでに実施した取組)					

⑩ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	コンクリートくず
	全 処 理 委 託 量	40.000 t	30.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
⑪ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	ALC
	全 処 理 委 託 量	57.060 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

⑬ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	ALC
	全 処 理 委 託 量	50.000 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
⑭ 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
	全 処 理 委 託 量	11.396 t	199.208 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②0 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
	全 処 理 委 託 量	10. 000 t	100. 000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
21 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶器類 石綿	廃プラスチック 石綿
	全 処 理 委 託 量	23. 000 t	1. 750 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

22 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶器類 石綿	廃プラスチック 石綿
	全 処 理 委 託 量	20.000 t	1.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
23 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	伐採材・伐根材
	全 処 理 委 託 量	16.280 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

24 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	伐根材・伐根材
	全処理委託量	10.000 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
25 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	8.476 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

26 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
	全処理委託量	8.000 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
27 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	がれき類 石綿
	全処理委託量	0.000 t	39.960 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

28 計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	安定型建設混合廃棄物	がれき類 石綿
	全 処 理 委 託 量	0. 000 t	30. 000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
29 現状	【前年度（年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。